

立命館アジア太平洋大学  
2017年10月30日 配信 APUリリース 2017-31【訂正】

2017年10月25日に配信したプレスリリースの内容に一部誤りがございましたので、以下のように訂正いたします。

訂正内容: 第60回世界報道写真コンテストの応募者の国籍・地域数  
(誤) 120カ国・地域 (正) 125カ国・地域

以下、正しい内容のプレスリリースとなります。

## 世界最大規模の写真展

「世界報道写真展 2017 変えられた運命」10月30日(月) - 11月12日(日)

「世界報道写真展」は、毎年一年を通じ45カ国約90会場で開催され、約400万人が来場します。今年も、日本では6月10日に東京で開催されたのを皮切りに、APUを含め全国7ヶ所で開催されます。九州では、APUが唯一の会場となります。

今回の展示では、本年2月の第60回世界報道写真コンテストで選ばれた、8部門45人の受賞作品約150点を紹介します。主に前年に撮影された写真が対象で、**125カ国・地域**の5,034人のプロフォトグラファーによる80,408点から選ばれた珠玉の作品です。

普段目にすることが少ない現実を写真から知ることができる貴重な展覧会です。選りすぐりの写真を通して、世界を体感してみませんか？

開催日 : 2017年10月30日(月) - 11月12日(日)  
場所 : 立命館アジア太平洋大学(APU)  
本部棟(A棟)2階 コンベンションホール  
開館時間 : 10:00-17:00(入館は16:30まで) 会期中無休  
参観料 : 大人500円 高校生以下無料  
主催 : 立命館大学国際平和ミュージアム、立命館アジア太平洋大学、朝日新聞社、世界報道写真財団



### 世界報道写真大賞

【スポットニュースの部 組写真1位】

トルコの首都アンカラにある文化センターにおける写真展の開会式、22歳の非番警官メブリュト・メルト・アルトウンタシュがアンドレイ・カルロフ駐トルコ・ロシア大使を射殺した。犯人は、警察との銃撃戦で射殺されたが、大使の他にも3人を負傷させていた。

ブルハン・オズビリジ(トルコ、AP通信)  
2016年12月19日 アンカラ(トルコ)

「世界報道写真展」は1955年にオランダのアムステルダムで世界報道写真財団が発足したことにより、翌年から始まったドキュメンタリー、報道写真の展覧会です。